

IMF・世銀年次総会 CSO 連絡会（第2期） 第2回全体会合  
議事録

日時：2012年5月29日（火）16:45～18:00

場所：JICA 地球ひろば 301号室

出席者：別紙参照

配布資料：出席者リスト、第1期決算書（確定版）、第2期活動計画（案）、第2回セミナー企画書、第2期予算案（修正版）、CSO連絡会規約、第2期会員団体一覧

1. 開会

2. 定足数の確認：参加14団体。会員の過半数以上の出席が確認された。

3. 議長選出：谷山 博史

4. 議事録署名人の選出：井上 団、田中 徹二

5. 討議事項

（1）第1期決算（確定版）について、以下の通り承認された。

・3月期末を迎えたので確定番の決算書を配布している。会計はJANICが専用口座を設け、管理する。

・<収入>第1期は16団体、すべて入金済。

・<支出>会議費、郵送費、交通費、雑費、事務局管理費。

（2）CSO連絡会の活動計画（第2回セミナー企画書）と各会員団体の活動について、以下の通り承認された。

・第2期ではセミナーを4回開催する。第1回（5月）は本日、第2回（7月）は北沢洋子さん・松本悟さんにこれまでの活動について市民の視点からお話しいただく。第3回（9月）は「IMF・世銀総会でCSOが求めること（仮）」、第4回は総会終了後の総括と次のステップについて。その他、CSOポリシーフォーラム開催支援や国内CSO活動の支援、海外CSO関係者の対応、組織運営事務など。

質問：CSOポリシーフォーラムの具体的な段取りについて説明してほしい。

→ポリシーフォーラムについての意見聴取はすでに依頼あり。各団体と世銀東京事務所が個別にやりとりしている。

→日本のNGOに限って言えば、企画案を連絡会宛にお送りいただき、コンサルテーションに反映させる。日本リザルツ、アフリカ日本協議会、プラン、ワールドビジョン、JANICなどが企画中。

質問：鶴見さんが残念に思ったというCSO同士の連携については？一つの意見にまとめるのは難しいが、てんてこ舞いでは更に難しい。日本のCSOだけでもまとめられないか。それを見越しての勉強会開催なのか、それとも広く参加を呼びかけるというものなのか。

→定款を作ったときは、G8のときのように政府に申し入れをするのではなく、日本のCSOとして責任を果たすべく、提言の支援をするというものだった。

→海外から来るCSO、特にスポンサーCSOに関しては、CSOの範囲が我々の考えるものよりも広い。それも含めて一つの方向性にするのは難しい。普段、世銀 IMF がどういう政策をしているのかを知るのはワシントンで活動するCSOのみ。だからこそ世銀はスポンサー制度を設けている。本人が強い意識を持っていないと収穫はないだろう。我々もどこを呼ぶという権限は持っていない。

→環境社会配慮のNGOとしては、情報交換をMLやスカイプ会議で行なっている。テーマによってそれぞれNGOが準備している。

→ご意見を是非寄せてほしい。幹事会やメールベースで議論する。

→キャンペーンと世銀共催セミナーについて、4月に世銀から相談があった。立ち上げの経緯からして、連絡会でまとまって提言をすることは想定していなかった。一方で会員NGOはキャンペーンを実施している。それを支援していただくことは可能では、と回答した。現在、世銀が検討中。具体的に話が進んでいるのはSTAND UP! TAKE ACTION。可能性があるかもしれないが、まだ返事はない。支援することになれば、連絡会としてもどういう形で関わっていくのか、支援していくのかを幹事会やメールで議論したい。7月の全体会議に間に合えば検討したい。その前に幹事会もある。共催セミナーについては、内容によっては実施してもいいのでは、と幹事会で議論した。

### (3) CSO プランニンググループへの関与について

- ・"Civil Society Participation in the WB/IMF"という、CSOの関与に関する世銀のペーパーがある。スポンサーCSOの選定などにアドバイスをしてほしい、というもの。プランニングなのか、単なるアドバイスなのかは微妙なところ。世銀が考えているのは、日本3名、東アジア3名、南アジア3名、中東1名、アフリカ1名、ラテンアメリカ1名。第一回は6月末で検討中。これに対して幹事会で話し合った結果、世銀側で公募してもらう、ということを考えている。
- ・CSOポリシーフォーラムの場所は東京国際フォーラムホールD1他。日本語通訳手配の可能性は低い、CSOルーム(パソコン、コピー機など)は、東京国際フォーラムのプレスセンター近くを予定している。日程は、10月9日(火)にオリエンテーション、10~13日が本番、13日にタウンホールミーティングを予定。

#### 質問：会場規模は？

→不明。ワシントン春季会合では最大でも30名。机を動かせば50人ぐらいは入る。

→世界銀行では100名ほどの部屋、と聞いている。

→春季会合では50人クラスの部屋がひとつ、30人クラスがふたつだった。秋期は50ぐらいのセッションを予定しているので、CSO参加者が増えれば変更されるかも。

#### 質問：ステイグリットを呼ぼうと準備している。大きな会場を借りる際は支援してもらえるのか。

→ポリシーフォーラムはアクレディ取得者のみ参加できる。大きな会合は外でやったほうがいい。

質問：世銀主催、CSO 主催、共催などあるが、主催者によってセッションの位置づけは変わるか。

→変わらない。

→CSO 連絡会事務局から会員団体宛にプランニンググループの情報が来たら転送する。

#### （4）第2期予算（修正版）について

- ・助成金を獲得したので予算を修正した。
- ・<収入>会費 20 団体を想定していたが、現時点で 21 団体。繰越金も合わせて 70 万円ほど。
- ・<支出>主に勉強会の会場費（講師謝金含む）、活動内容がはっきりしてくれれば通訳・翻訳費などを幹事会で検討する。第2期決算についても JANIC が決算書を作成し、JANIC 本体会計に組み込んで、監査してもらう。セミナー会場費はなるべく安く抑える。

質問：地球ひろばが閉鎖した後はどうするのか？

→他の安い会場を探す。

#### （5）その他

- ・世銀総会に向けて、それぞれの団体の動きについて情報共有した。
- Save the Children：具体的には決まっていないが、ジョイセフにリードをとっていただき、Japan CSO Network on Global Health を結成、保健に関わる CSO で何か企画する。あとは、DRR について仙台で会合があるので、引き続き情報収集をする。SCUK が保険財政のレポートを予定しているので、世銀に事前にインプットまたはポリシーフォーラムで発表する予定。
- オルタモンド：金融取引税とタックスヘイブンを取り上げる予定。メインゲストはジョセフ・スティグリツ、ジャック・アタリ。メディアを集めることを目標に。金融取引税に前向きで実施目前の各国（フランス、ドイツ、南アフリカ、ブラジル）のどれかの財務大臣と、あまりやる気のない日本の財務大臣を呼ぶ。
- 日本リザルツ：100 名ぐらい入るホールはあるようだ。しかし、必ずしも CSO だけが使えるわけではない。50 人くらいになるかも。500 人くらい大勢が来る場合は？と IMF に尋ねると、今のところはない、という回答だった。
- ジョイセフ：GII/DII 所属。保健分野の NGO が中心となって、セミナーを開催予定。Oxfam、AJF、Save the Children などが参加してワーキンググループを結成。テーマは未定。本会合では保健分野の会合が二つある。それらとシンクロさせる。TICAD V やポスト MDGs に向けて動き出したい。
- Oxfam：本会合での二つのテーマは、なぜ保健が重要か、ということとユニバーサル・カバレッジ。Oxfam は保健財政についてのセミナーを開催する予定。成長、貧困、格差の問題。2010 年代は経済成長と格差は正の関係について IMF が発言を始めているので、底にインプットしていく。農地争奪の問題と世銀の金融仲介機関を介した融資がつながっている、という点も注意。保健についてはイベントだけでなく、本丸、すなわち公式会合できちんと議論をしてほしい。IMF と世銀の合同委

員会で次回取り上げるということを約束してもらうロビイングを予定。

- コメント：開発 NGO ではない日本の CSO への対応はどうするか。反貧困ネットワークや PARC、原発とエネルギー、食料を含む貿易の完全自由化など、情報を集めて共有して欲しい。
- ワールドビジョン：JNNE ワーキンググループのオブザーバーとして、状況を見守っている。ワールドビジョンでは、ソーシャル・アカウンタビリティ、世銀の政策に住民参加をどうしていくかを考えるというもの。ウガンダの事例を取り上げるセミナーを予定。保健事業におけるアカウンタビリティ。テーマによって連携するかどうか、世銀と連携するかどうか検討中。もう一つは、ワールドビジョンジャパンが毎年行なっているキャンペーンで、5歳以下の子どもの命を守る、というもの。3万人の署名を集め、その成果を何らかの形で展示したい。世銀東京事務所では決められないので、本部の決定待ち。
- プラン・ジャパン：プラン・グローバルで考えていることは、Job、Youth Economic & Empower というテーマで参加する予定。2年前から世銀と共にやっていたプロジェクトなので、世銀やアカデミシャンの協力を得ながらやっていく。費用の問題はまだ残っている。プラン・ジャパンでは実施しない。7月以降にプラン・グローバルとして行なう。本テーマに日本の CSO を如何に巻き込んでいくかは、検討課題。
- JACSES：環境社会配慮、セーフガードについて、20～30人程度は来日予定。ポリシーフォーラムのなかで、アジアの具体的なプロジェクトから影響を受けている住民を支援している NGO を招聘し、世銀政策の問題点をつつくと同時に、これからの政策を考えていく。
- JANIC：MDGs とポスト 2015。リオには大橋が行き、SDGs とも関わってくる。できればインドなど南の NGO や InterAction や KCOC など他国のネットワーク NGO とも協力していきたい。

・CSO 連絡会のバナーを作成したので各団体のウェブサイトに掲載してほしい。

・新規団体の紹介

- アース仏教国際協力ネットワーク（井上）：海外で活動する NGO を支援しつつ、仏教層とつなないでいく。世界で起こっている様々な問題や NGO の重要性を伝えていく活動を行なっている。
- 世界宗教者平和会議日本委員会（木塚）：情報収集を続けていきたい。
- Teach for JAPAN（大隈）：教育格差や教育課題を解決するための団体。Teach for US, Teach for All とネットワークを組み、情報発信をしたい。

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び議事録署名人は以下の通り署名する。

議長 谷山 棒史 (谷山 博史) 印  
議事録署名人 井上 団 (井上 団) 印  
議事録署名人 田中 徹二 (田中 徹二) 印